

OCEAN CUP 2017
第27回
宜野湾～久米島ヨットレース
'17. May. 27 (Sat)



帆走指示書

II 帆走規定

1. スタート予告信号時刻およびクラス旗

- 1.1 各クラスのスタート予告信号時刻は、下記の通りとする。
- 1.1.2 マルチハルクラス[黄色] /平成 29 年 5 月 27 日(土)05:55
- 1.1.3 モノハルクラス[ピンク色] /平成 29 年 5 月 27 日(土)06:05
- 1.2 本部船に掲揚されているL旗またはAP旗はスタート予告信号1分前に降下される。

2. コース

- 2.1 宜野湾港マリーナ沖合から久米島・兼城港沖合まで。
- 2.2 コース距離:約 55 マイル(各クラス共通)
- 2.3 モノハルクラスは久米島・鳥口沖合の『トンバラ岩』を時計回りに一周し兼城港沖合のゴールラインへ帆走しなければならない。
- 2.4 コース短縮、変更等が発せられた場合は上項 2.3 は摘要されない場合がある。

3. マーク

- 3.1 宜野湾港マリーナ沖合のスタートマークは牧港 No2 ブイ(赤色)を使用する。
- 3.2 久米島・兼城港沖合のフィニッシュマークは円筒ブイ(黄色)を使用する。

4. スタート

- 4.1 レース・スタートは RRS26 に従って予告信号をスタート信号の5分前に掲揚する。
- 4.2 スタート・ラインはスターボード端にある【久米アイランド旗】を揚げた本部船のポールとポート端のスタートマークとの間とする。
- 4.3 予告信号が発せられていないクラスの艇は、スタートエリアから回避しなければならない。
- 4.4 スタート・ラインはスタート信号5分経過後に消滅するが、その後にスタートした艇は、失格に代わる罰則として1回転ペナルティーを履行することができる。(8.2を除く)
 - ①予告信号(スタート5分前) :【クラス旗】を掲揚し、音響信号1声を発する。
 - ②準備信号(スタート4分前)):【P旗】を掲揚し、音響信号1声を発する。
 - ③1分信号 :【P旗】を降下し、音響信号1声を発する。
 - ④スタート信号 :【クラス旗】を降下し、音響信号1声を発する。
 - ⑤スタート延期信号 :【AP旗】を掲揚し、音響信号2声を発する。
新たな予告信号は【AP旗】降下の1分後に掲揚される
【AP旗】降下の際は音響信号1声を発する。

5. リコール

5.1 個別のリコール

- 5.1.2 リコール艇があった場合は、本部船に【X旗】を掲揚し、音響信号1声を発する。
- 5.1.3 リコール艇は各艇の責任においてスターティングラインに戻り、正しいスタートをしなければならぬ。
- 5.1.4 【X旗】の降下は、リコール艇が全て解消した時、あるいはスタート信号の4分経過後のいずれか早い方とする。
- 5.1.5 リコールを解消しなかった艇は、失格に代わる罰則として所要時間に5%のペナルティーを課す。〔RRS付則A4の変更〕

5.2 ゼネラルリコール

- 5.2.2 本部船に【第一代表旗】を掲揚し、音響信号2声を発する。
- 5.2.3 新たな予告信号は【第一代表旗】降下の1分後に掲揚される
- 5.2.4 ゼネラルリコール後の次のクラスのスタートは順次繰り下げる場合がある。
- 5.2.5 ゼネラルリコール後の再スタートには30. 1「【I旗】規則」を適用することができる。
- 5.2.6 「【I旗】規則」を適用する場合【I旗】が準備信号となる。スタート信号前の1分前に降下後に艇体、乗員または装備の一部でもスタート・ラインまたはそのどちらかの延長線のコースサイドにある場合には、その艇はスタートする前にコースサイドからスタート・ラインの延長線を横切り、プレスタートサイドまで帆走しなければならない。〔RRS30. 1〕
- 5.2.7 【I旗】規則によるリコール艇があった場合は、本部船に【X旗】を掲揚し、音響信号1声を発する。
- 5.2.8 【X旗】の降下は、【I旗】規則によるリコール艇が全て解消した時、あるいはスタート信号の4分経過後のいずれか早い方とする。
- 5.2.9 コースサイドとは延長線を含むスタート・ラインから最初のマーク側の海面とし、スタート・ラインとその延長線を挟んだ対面側をプレスタートサイドとする。

6. フィニッシュ

- 6.1 フィニッシュ・ラインはポート端にある【久米アイランド旗】を揚げた本部船のポールとスターボード端のフィニッシュマークとの間とする。
- 6.2 コースが短縮された場合のフィニッシュ・ラインはマークブイ(島)と【S旗】揚げた本部船のポールとの間とする。その場合はスタートから進んだコースで横切ること。
- 6.3 荒天、その他の理由により本部船が出港出来ない場合のフィニッシュ方法は別途に通知する。

7. 失格に変わる罰則

- 7.1 レース中に、RRS第2章の「航路権」に違反した艇は失格に代わる罰則として2回転ペナルティーを履行することができ、RRS31「マークとの接触」に違反した艇は失格に代わる罰則として1回転ペナルティーを履行することができる。(艇はインシデント後できるだけ早く他艇から十分離れた後、1回のタックと1回のジャイブを含む回転を、同一方向に必要な回数だけ速やかに行う事により、1回転または2回転ペナルティーを履行したことになる。)
- 7.2 RRS第2章を除く軽微な違反に対して、レース委員会の裁量で所要時間に最大5%のタイムペナルティーを課すことができる。

8. エンジンの使用

- 8.1 レース参加艇はレース中に動力としてエンジンの使用は認められない。(レース中とはスタート4分前の準備信号からフィニッシュ・ラインを横切るまで)
しかし、落水者救助、遭難艇(船舶)救助、他の船舶との衝突回避(緊急避難)、離礁その他緊急かつ切迫した事態に対処するためにエンジンを使用することができる。[RS42. 3(h)]
- 8.2 スタート信号後5分を経過してもスタート・ライン付近に到達することが出来ないため、同ライン付近まで機走または曳航された場合には、帆走に移ってから2回転した後にスタートしなければならない
- 8.3 エンジンを使用した場合には、その状況(使用した時間・場所・目的等)について、フィニッシュ後レース委員会に速やかに書面(エンジン使用報告書)にて報告しなければならない。

9. タイムリミット

- 9.1 その対象を全艇として時刻をレース・スタート当日の16:00とする。
- 9.2 タイムリミット内にフィニッシュできない艇は、「DNF」と記録される。

10. レース成立

- 10.1 トップフィニッシュをもってレースは成立する。

11. コース変更・短縮

- 11.1 先行艇が9時間以内に『トンバラ岩』又は『鳥口』を通過出来ないとレース委員会が判断した場合はコース変更・短縮を行う。
- 11.2 通知方法は携帯電話またはVHFにて陸上または本部艇より通知する。
- 11.3 荒天、その他の理由により本部船が出港出来ない場合のコース変更・短縮場合のフィニッシュ方法は別途に通知する。
- 11.4 コース変更・短縮場合のフィニッシュ・ラインを『鳥口』付近に設けた場合の

コース距離は約 55 マイル(各クラス共通)とする。

12. レースの中止

- 12.1 陸上では、宜野湾港マリーナ内において口頭にて通知する。
- 12.2 海上での通知は次の通りとする。
 - 12.2.1 スタート前は本部船に【N旗】を掲揚し、音響信号3声を発する。
 - 12.2.2 スタート後は通信にて通知する。

13. 参加艇の義務

- 13.1 スタートをしない艇は、必ずレース委員会に連絡しなければならない。
- 13.2 レースを棄権した艇は、速やかに、レース委員会に連絡しなければならない。
連絡は必ず艇の責任者が行き、第三者による伝言を託してはならない。
- 13.3 レース艇は常に携帯電話の電源はONにし、着信音に注意を払ってなければならない。
上記を怠り成績が不利になった場合、救済は一切受付ない。

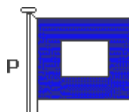
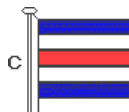
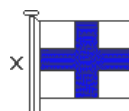

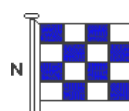

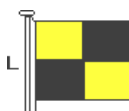


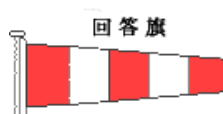
14. 抗議

- 14.1 抗議しようとする艇は、まず、相手艇に抗議の意思を伝え、同時に、他艇から見やすいところに【赤色旗】を揚げ抗議の意思を表さなければならない。
- 14.2 抗議をしようとする艇は、フィニッシュ時に本部船に抗議の意思と相手艇を特定して、その旨を通告しなければならない。
- 14.3 抗議をしようとする艇は、所定の抗議書をフィニッシュ後1時間以内にレース委員会に提出しなければならない。
- 14.4 抗議書の入手はレース委員会または兼城港岸壁特設テントとする。
- 14.5 抗議に対する審問はプロテスト委員会が時間と場所を決め、双方に通知した後に審問を行う。

15. その他

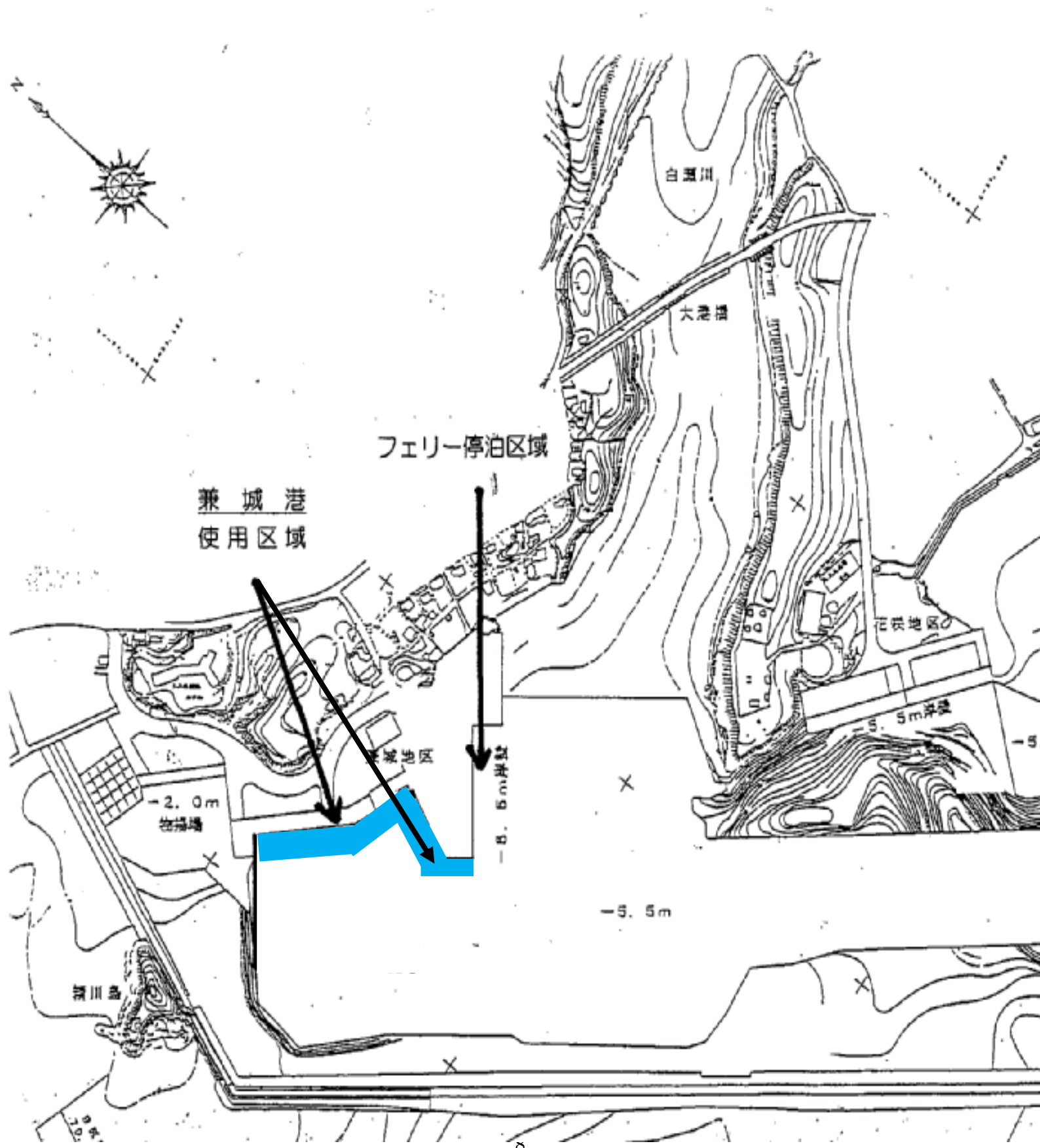
- 15.1 レース終了後の接岸岸壁
兼城港岸壁とする。(別紙参照)

16. 信号旗

- | | | | |
|------------------|--|--------------------|---|
| 【P旗】 準備信号 |  | 【C旗】 コース変更 |  |
| 【X旗】 リコール |  | 【S旗】 コース短縮 |  |
| 【N旗】 レース中止 |  | 【I旗】 ラウンド・ジ・エンドルール |  |
| 【L旗】 集合 |  | 【Y旗】 ライフジャケット着用 |  |
| 【第一代表旗】 ゼネラルリコール |  | | |
| 【AP旗】 スタート延期 |  | | |
| 【クラス旗】 予告信号 | モノハルクラス[ピンク色] / マルチハルクラス[黄色] | | |
| 【久米アイランド旗】 | スタート・ライン及びフィニッシュ・ライン | | |

○レース委員会○		
委員長	高江洲 正春	090-1878-1810
副委員長	前川 秀司	090-3797-4889
委員	徳田 恭紀	090-1945-3420

ヨットレース参加艇 係留場所見取り図（兼城港及び花咲港内）



艇長会議連絡事項

久米島レース実行委員会

1. 兼城港入港時は十分に注意して、適正航路を進んで下さい。
兼城港入口赤立標付近には、暗岩が突出しています。また、港内防波堤付近は所々岩がせり出していますので、近づかない様にして下さい。夜間入港の際は、鳥島漁港と間違わない様ご注意ください。夜間入港の際は、必ず本部までご連絡下さい。

090-1878-1810 (高江洲)、090-3797-4889 (前川)

久米島商船のフェリーは5月27日(土) **8:30・14:00**に久米島を出港し、那覇より**12:00 前後・17:00 前後**に久米島に入港致します。

久米商船のフェリー入港時には、本船の妨げにならない様に注意し入港して下さい。

レース翌日5月28日(日曜日)の久米島発フェリーは、**8:30**に兼城港出港します。**8:00~8:30の時間は出港しないで下さい。**

2. 先着チームは後続艇の接岸の協力をお願い致します。
3. ゴミ回収車を本部テント横に用意しますので、各艇燃えるゴミ・燃えないゴミの分別をお願いします。
4. 兼城港よりホテルまでの移動は、ホテルマイクロバスをご利用下さい。
5. チェックインはロビー内特設カウンターにて、各艇ごとに代表者が宿泊料金を一括しお支払い下さい。(大人10,000円/子供7,500円) シングルUPは追加2,000円で、クレジットカードの支払いも可能です。
6. 表彰パーティーのみに参加されるお客様は、ロビー内フロント4カウンターにて各自参加費用をお支払い下さい。(1人4,000円)
7. パーティー会場はセルフサービスとなっております。ご協力頂きます様お願い申し上げます。
8. 5月28日(日)ホテルから港までの移動は、下記の時間はマイクロバスを用意致しております。

1便7:30 2便8:00 3便8:30 4便9:00

上記の時間以外はタクシーか路線バスをご利用下さい。タクシーは混雑が予想される為、フロントにて事前の予約をお願い致します。(港まで片道 約1,500円)

以上